

令和 6 年度第 2 回

# 龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課  
(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

## 目次

◇議案第 1 号	
令和 7 年度歴史民資料館事業計画(案)について ……………	p3

別紙1 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

令和7年度歴史民俗資料館事業計画(案)

1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

(1) 常設展示		
展示期間	令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)	
展示場所	常設展示室、エントランス、屋外	
内 容	龍ヶ崎の歴史と民俗をテーマに時系列的に関連資料を展示。 エントランスには、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」のジオラマと視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。屋外には、市指定文化財4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稻栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。	
(2) ボランティア作品展「布れあい作品展」		
会 期	4月下旬～5月上旬	 <p>令和6年度展示風景</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	体験学習等で協働している資料館ボランティアと共催で、染色や機織りの活動成果(作品等)を展示。	
(3) つくば科学万博40周年		
会 期	5月中旬～6月中旬	 <p>つくば博の記念品</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	本年4月に「Expo2025 大阪・関西万博」が開催される。これにあわせて「科学万博つくば'85」が開催されてから40周年を迎えることを記念して、関連する収蔵品を展示する。	
(4) 非核平和推進事業展		
会 期	6月下旬～7月	
開催場所	企画展示室	
内 容	市人事行政課と共催で、広島平和記念館や長崎原爆資料館が所蔵する原爆写真パネル等を展示して、戦争や被爆体験を次世代に継承して平和意識の高揚を図る。	
(5) 太平洋戦争の資料展		
会 期	8月	 <p>昭和16年頃の出征風景</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	日本は今年、戦後80年を迎える。そこで市内にあった軍需工場「羽田精機」や馴染小学校への空襲などの聞き取り資料や収蔵資料を展示し、戦時下の龍ヶ崎の悲劇を伝え平和な社会を尊ぶ機会とする。	

(6) 絹本着色十六羅漢像展		
会 期	9月～10月	
開催場所	企画展示室	
内 容	龍ヶ崎市唯一の絵画の重要文化財である十六羅漢像の複製品を展示公開し、文化財への理解を深める。	令和6年度展示風景
(7) 郷土作家展		
会 期	10月下旬～11月上旬	
開催場所	企画展示室、多目的室、体験学習室	
内 容	市民文化芸術フェスティバル特別企画として、龍ヶ崎にゆかりのある作家の作品を展示紹介し、郷土作家を顕彰する。今回は日展会員の中原篤徳氏を予定している。	第11回日展出品作品
(7) 収蔵品展		
会 期	1月下旬～3月	
開催場所	企画展示室	
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の見学時期に合わせて、昔の道具類を展示し学習支援を行う。	

## 2 普及事業の実施

(1) 郷土史講演会		
① 古を知る 龍ヶ崎の道標		
開催日	4月中	
開催場所	多目的室	
募集人数	30名	
講師	龍ヶ崎市民環境会議 文化環境部会員	
内容	部会員によって市域の道標の悉皆調査が行われ、69基が現存していることが報告された。この度、その報告書が刊行されることを記念して講演をしていた。	
② 龍ヶ崎と地震		
開催日	6月中	
開催場所	多目的室	
募集人数	30名	
講師	須藤 研氏(東京大学生産技術研究所名誉教授)	
内容	安政の大地震や関東大震災、大正10年の龍ヶ崎地震などを、地震工学から読み解いて講演をしていただく。	
③ 古鬼怒小貝川の流路を考える		
開催日	未定	
開催場所	多目的室	
募集人数	30名	

講 師	村岡基晴氏(元国土交通省利根川下流河川事務所指導官)	
内 容	律令制度下で常陸と下総の国境とされた古鬼怒小貝川の成り立ちと利根川東遷事業による鬼怒小貝川の分離による流路など、その河道の変遷を独自の視点で講演をしていただく。	
(2) 古文書講座「近世古文書を読む」(上級コース・初級コース)		
開催回数	上級コース…8回 初級コース…8回	
開催場所	多目的室	
募集人数	各コース30名	
講 師	盛本昌広氏、古文書同好会員外	
内 容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い、くずし文字の解読方法を学び、あわせて、歴史用語や時代背景を解説する。	
(3) 歴史散歩やデジタルスタンプラリー		
開催日	5月、3月	
募集人数	20名	
内 容	郷土を再発見する目的でコースを設定し、郷土の史跡や寺社を見学する散策会を開催する。また、他部署や市民団体と協働する散策コースの随行やデジタルスタンプラリーの資料監修を行う。	
		 <p>スタンプラリーチラシ</p>
(4) れきみんシアター		
開催日	毎週土曜日	
開催場所	多目的室	
内 容	小中学生を対象に、「まんが日本昔ばなし」を上映し、アニメを通して歴史に対する関心を促進する。	
(5) 撞舞コスプレ体験		
開催日	7月(3回)	
開催場所	エントランスホール	
内 容	撞舞への理解を深めていただく機会として、寄贈いただいた子どもサイズの舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影を行う。	
		 <p>令和6年度参加者</p>
(6) 8mmフィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会		
開催日	8月と9月は第1土曜日、10月は第1土曜日とふれ愛広場	
開催場所	多目的室	
内 容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムを活用したDVDの上映会。	

### 3 体験学習教室の実施

(1) わら草履作り教室		
開催日	8月(2回)	
開催場所	体験学習室、屋外	
募集人数	各回6名	
講 師	職員、資料館ボランティア	
内 容	現在は触れることが少ない「わら」を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。	
		 <p>令和6年度参加者</p>

(2) 注連飾り作り教室		 <p>令和 6 年度参加者</p>
開催日	12月(2回)	
開催場所	体験学習室、屋外	
募集人数	各回 6 名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。	
(3) 草木染め教室		 <p>令和 6 年度桜染め参加者</p>
開催日	5月、8月、10月(計3回)	
開催場所	体験学習室、屋外	
募集人数	各回 8 名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	ハンカチとストールを素材に、春は桜の枝葉、夏は藍の生葉、秋はススキ等を用いて日本の伝統的な染めの技法を学ぶ。	
(4) 折り紙教室		 <p>令和 6 年度作品親子鶴</p>
開催日	6月、11月、3月 (計3回)	
開催場所	多目的室	
募集人数	各回 8 名	
講師	折り紙伝承者	
内容	装飾性のある和紙を使って作品を折り、折り紙の魅力に触れる。	
(5) 機織り伝承教室		 <p>令和 5 年度参加者</p>
開催日	毎週火曜・木曜日(通年)	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
講師	資料館ボランティア	
対象者	資料館ボランティアの希望者	
内容	高機の活用と機織りの技術を習得し、その技術を伝承することを目指す。また、館内で実演も行う。	
(6) 機織り体験教室		 <p>令和 5 年度参加者</p>
開催日	3月(8回)	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
募集人数	各回 3 名	
講師	資料館ボランティア	
内容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、技術伝承の一端を学ぶ。	
(7) 簡単機織り教室		 <p>令和 5 年度参加者</p>
開催日	8月(2回)	
開催場所	エントランスホール	
募集人数	各回10名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	卓上の機織り機を用いて、不要になった布から新しく織物を織る「裂き織」を体験し、布のリサイクル技法を学ぶ。	

(8) 龍ヶ崎とんび凧教室		
開催日	12月	
開催場所	体験学習室	
募集人数	8名	
講師	龍ヶ崎とんび凧研究会	
内容	市民遺産である「龍ヶ崎とんび凧」を制作し、その魅力と凧揚げの文化を伝承する。	令和6年度参加者
(9) お手玉作り教室		
開催日	2月	
開催場所	体験学習室	
募集人数	8名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。	令和5年度参加者

#### 4 文化活動の推進及び支援

(1) 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿		
内容	所蔵している昔の道具の写真と解説文を寄稿し、子どもたちに昔の道具とくらしへの関心を喚起するとともに、館のPRを図る。	
(2) 『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿		
内容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を喚起する目的で、様々なテーマの話を書き寄稿する。	
(3) 資料閲覧及びレファレンス		
場所	図書研究室、事務室	
内容	資料に対するレファレンスを行い、閲覧対応及び貸出を行う。	
(4) 学芸員実習生の受入		
内容	大学の依頼を受け実習生を指導し、学芸員養成の支援を行う。	
(5) 職場体験の受入		
内容	中学校から依頼を受け、生徒に機織り体験や民具調査の手順、古い写真と現在の写真を対比する展示実習を行い資料館業務への理解を深める。	
(6) ボランティア活動の推進及び支援		
対象者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者	

内 容	資料館や関連事業について精通した人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進する。	
(7) 古い道具と昔のくらしの学習支援		
期 間	1月～2月	
対 象 者	市内及び近隣小学校	
内 容	小学3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」の見学学習に合わせ、昔の道具の展示解説、ビデオ上映、機織りなどを実演し、学習支援を行う。	
		令和5年度小学生へ説明風景

## 5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集	
内 容	郷土史料・民俗資料の収集を行う。また、自治体史や博物館発行図書の収集を行い、郷土史関係図書の充実を図る。
(2) 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続する。収蔵庫資料や展示資料の虫害、菌害を防止する燻蒸業務を行う。
(3) 市内資料(古文書など)の所在状況の確認	
内 容	当市の市史編さん事業は平成11年度に終了した。その過程で資料の一部は資料館に寄贈・寄託され、残りは所蔵者に返却した。事業終了から25年が経過し、世代交代などによる所蔵者の確認と合わせて、所在状況を確認するアンケート調査を実施する。

## 別紙1

## 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏名	選出区分	備考
さいが 雑賀 ふみひと 史	学校教育関係者 (市立長山小学校教務主任)	新規
あきやま 秋山 たくや 卓也	学校教育関係者 (市立長山中学校教頭)	継続
おの 小野 たけと 威人	学校教育関係者 (県立並木中等教育学校副校長)	継続
さかいり 酒入 ようこ 陽子	学校教育関係者 (流通経済大学教授)	継続
つつみ 堤 としあき 利明	社会教育関係者 (県南生涯学習センター)	継続
よしぼ 由波 としゆき 俊幸	学識経験者 (茨城県立歴史館学芸課長)	新規
さとう 佐藤 まさよし 正好	学識経験者 (市文化財保護審議会委員)	継続
つかもと 塚本 ゆたか 裕	学識経験者 (龍ヶ崎市商工会長)	継続
もちづき 望月 すすむ 進	学識経験者 (龍ヶ崎市観光物産協会会長)	継続
ぬまた 沼田 くみこ 公美子	公募の市民	継続

任期:令和5年10月1日から令和7年9月30日まで